

図書館の本だな

～3・4年生 おすすめの本のリスト 2023～

クモのアナンシ

フィリップ・M. シャーロック 再話 小宮 由 訳 岩波書店 933ーシ

むかし、森の王さまだったトラは、森でいちばん弱いクモのアナンシにひとつおねがいをされます。それは、むかし話につかわれているトラの名前を、アナンシの名前に変えてもらえないかというものでした。トラは自分の名前のままにしておきたいとおもいましたが、アナンシをみんなの笑いものにしてやろうと考え、条件を出しました。

(『アナンシとトラ』)

犬になった王子 チベットの民話

君島 久子 文 後藤 仁 絵 岩波書店 Eーゴ

大むかしのプラ国に、ゆうかんでころやさしいアチョ王子がいました。国のたべものは乳と肉しかなく、こくもつのタネは山の神リウダさまのところにしかない、といいつたえられていました。王子が、九十八の山と川をこえて山の神さまをたずねると、タネをもっているのは蛇王だと教えられます。王子は、蛇王の領地へとむかいました。

タヌキの土居くん

富安 陽子 作 福音館書店 913ート

三年生になったアカネちゃんは、学校に一番のりしようと、いつもより早く登校しました。ところが、アカネちゃんより早く来ていたのは、“なかよく、元気に、しょうじきに！”という今学期の目標のため、正直にタヌキのまんま登校していた土居くんだったのです。やがて、友だちがつぎつぎに登校してきました。

ポリーとはらぺこオオカミ

キャサリン・ストー 作 掛川 恭子 訳 岩波書店 933-ス

げんかんのベルがなり、ポリーがドアをあけると大きなオオカミが「おまえをくってやる」と家の^{いえ}中に^{なか}ふみこんできました。ところが、オオカミはポリーにすすめられたパイをたべ、おなかがいっぱいになってしまいます。そこで、オオカミは、ポリーをたべるのはまたべつ^ひの^ひにするといいかえってしまいました。一週間^{いっしゅうかん}後、またげんかんのベルがなります。(『かしこいポリーとおばかさんのオオカミ』)

おいなり山のひみつ

茂市 久美子 作 講談社 913-モ

夏^{なつ}休^{やす}みがはじまったばかりのころ、ひろしのもとに手紙^{てがみ}がとどきます。それは春^{はる}に応募^{おうぼ}したプレゼントの「お山^{やま}ですごす一週間^{いっしゅうかん}」があたったというものでした。八月^{はちがつ}になって、ひろしがひとりで春山^{はるやま}駅^{えき}まで行くと、けんたという男^{おとこ}の子^こがひろしをむかえにきていました。けんたの家^{いえ}にむかうとちゅう、ひろしは「おにいちゃんってよんでいい?」と聞^きかれます。

くろて団は名探偵

ハンス・ユルゲン・プレス 作 大社 玲子 訳 岩波書店 943-プ

くろて団^{だん}は、悪漢^{あくかん}をつきとめていく子どもたちのグループです。メンバーは、リーダーのフェリックス、アデーレ、ロロ、キキの4人^{にん}と、キキといつもいっしょにいるリスの1ぴきで、放課^{ほうか}後^ごになると〈空港^{くうこう}〉と名づけられた本部^なに定期的^{はんぶ}に集^{ていきてき}合^{しゅうごう}しています。くろて団^{だん}のなかまになって、いっしょに事件^{じけん}を解決^{かいけつ}しましょう!

ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ さく せた ていじ やく 評論社 E-ス

夏^{なつ}休^{やす}みのある雨^{あめ}の^ひ日、ロバのシルベスターはのぞみのかなう赤^{あか}い小石^{こいし}をみつけました。父^{とう}さんと母^{かあ}さんをおどろかせようといそいで帰^{かえ}っていると、草^{くさ}のしげみからこっちをうかがっているライオンを見^みつけます。あわてふためき、うまく考^{かんが}えられなかったシルベスターは、「ぼくは岩^{いわ}になりたい」と言^いってしまいました。

もしもトイレがなかったら

加藤 篤 著 少年写真新聞社 518-カ

もしもトイレがなかったらどうしますか？トイレやうんちの^{はなし}話をするのはちょっとした^{ゆうき}勇気が必要です。でも、トイレは自分の^{けんこう}健康を守り、おなじ^{ちいき}地域に住む人みんなが^{あんしん}安心して^{えいせい}衛生的にくらすためにとても大切なものです。世界のトイレや^{さいがい}災害のときのトイレ、^{むかし}昔のトイレのことを知って「もしもトイレがなかったら」を^{そうぞう}想像してみましょう。

ウマと話すための7つのひみつ

河田 棧 文と絵 偕成社 E-カ

「^{うまご}馬語」とは、ウマどうしだけにつうじることばです。人はウマのことばがわかりませんし、ウマは人のことばがわかりません。しかし、もしウマを^み見ると^{たの}楽しくなってくるなら、きみの^{なか}中に、^{うまご}馬語を受信するアンテナがねむっているのかもしれません。ウマと^{はな}話すための7つのひみつをおしえてもらいましょう。さあ、ウマの^{せかい}世界へ。

ワイズ・ブラウンの詩の絵本

マーガレット・ワイズ・ブラウン 詩 レナード・ワイスガード 絵
木坂 涼 訳 フレーベル館 E-ワ

まだ だれも ことばに したことがない

まだ だれも みみに したことがない

ことばの おんがく ことばの うた

アメリカの作家による詩の^{えほん}絵本です。「ふかいみどりのくさのもり」ではむしたち、「うみのひみつ」ではさかなやふね「みみをすましてきいてごらん」ではどうぶつやいきもの「こっちでいちまい あっちでいちまい」ではきせつやしょくぶつの^し詩が、それぞれ^か書かれています。